

活動報告書



2023年4月→2024年3月

認定NPO法人アンビシャス
沖縄県難病相談支援センター

ACTIVITY REPORT 2023



仲宗根真一（なかそね しんいち）さん

筋萎縮性側索硬化症(ALS)

会報誌NO. 262より

難病患者よ大志を抱け

難病患者の自立を支援します。

An intractable disease patient
be ambitious!

We will help you to become independents
from your sickness.

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

アンビシャスでは2023年度も数多くの皆様の心温まるご支援により、難病情報誌の提供や医療相談会、研修会等充実した難病支援活動を行うことが出来ました。

2024年度も成人・小児を問わずこれまで以上にスタッフのスキル向上を図るとともに、円滑な相談・支援活動を行う上で沖縄県や各保健所、拠点病院をはじめ、各地域の医療機関、訪問看護ステーション等との連携を更に深め、小児慢性児を含む難病当事者、家族の皆様が安心してご相談が受けられる様、尚一層努めてまいります。難病を抱えて日々を過ごされている方々の「夢をあきらめさせない」取り組みへ、今後ともお力添えを賜ります様、心よりお願い申し上げます。

また、例年と異なる点として2023年8月の台風6号では長時間の停電、断水など甚大な被害を受け、在宅療養中の人工呼吸器利用者（児）等の電源確保、避難先の整備など課題が浮き彫りになりました。さらに、元旦に発生した能登半島地震をうけ、電源確保についてご要望が多くなっていますので、ひとりでも多くの方々が安心と安全に暮らせるように努めて参ります。

最後に2023年度、数多くの方々や団体様に賛助会員としてアンビシャスの活動を支援していただきました。また多くの皆様より多額のご寄付を頂戴しています。私共が難病支援活動に取り組むに当たり、このように多くの皆様のご支援により円滑な活動運営が可能となっています。ここに改めて心より御礼申し上げます。



認定NPO法人
アンビシャス
理事長

迫 幸治
Yukiharu Sako

President
Non-Profit
Organization
Ambitious



認定NPO法人
アンビシャス
副理事長

照喜名 通
Toru Terukina

Vice-President
Non-Profit
Organization
Ambitious

2023年度 事業報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

事業成果

沖縄県難病相談支援センターとして日々難病患者・家族からの相談を受け、療養や日常生活での悩み、不安等の解消を図るとともに様々なニーズに対応したきめ細やかな相談・支援を心がけた。2023年度は各種交流会や研修会等を通じ、地域における支援対策や意識レベルの向上を目指した。

1 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業

コロナ禍で急速に普及したオンラインを活用し、離島在住など会場に参加出来ない方への対応として、ご相談や交流会等をオンラインやハイブリット形式でも実施した。RDDのイベントを強化しコロナ禍で疎遠になっていた方や、新たな出会いと連携を深めることが出来た。また、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の相談支援では予後の意思決定に関するニーズが高まってきている。さらに、2023年8月の台風6号、能登地震の発生から、在宅人工呼吸器装着の成人・小児に関する問い合わせは増大している。

2021年度から受託した小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の充実を図るため、個別支援においては保健所や医療機関など各種関係者と連携支援を実施。当事者の実態を把握しようと、交流会を企画開催した。また、当事業の周知として学校関係や小児科などへの周知活動を開始。今後はまだ広報活動に至っていない、薬局やその他関係機関へ次年度も広げていきたい。

2 障害福祉サービス事業

会報誌の製作における寄稿や編集とホームページ掲載として活動する。

3 難病に関する周知啓発活動

これまで通り、難病情報提供を目的に難病情報誌の毎月発行を継続。更にソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を活用しイベント等の周知と拡散を始めた。また、当団体の紹介カードを作成し関係機関に配布設置を協力依頼していることを次年度も継続していく。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円) (税込)
1)難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業	A)沖縄県委託事業 B)沖縄県補助事業 C)沖縄県小慢自立支援 D)那覇市小慢自立支援 E)患者会支援等 F)各種関係機関連携 他	通年	事務局 又は 各自宅等	A)4名 B)4名 C)4名 D)4名 E)5名 F)6名	A)相談件数 863件 B)貸与累計 35件 C)相談件数 55件 D)相談件数 17件 E)広報支援 18団体 F)医療相談会 47組 看護学生実習 8名 ピアサポート 30名	17,528 内県委託計 12,586 A)+C)
2)障害者福祉サービス事業	会報誌 ICT 寄稿・編集	随時	事務局	3名	寄稿各月 5名	3,527
3)難病及び各事業に関する周知啓発活動事業	広報活動(会報誌発行、WEB、SNS他) 世界希少難治性疾患の日	通年 3/2	事務局	6名	会報誌発行部数 年間延べ 19,200部 参加申込 113名	4,558
4)その他目的を達成するための事業						

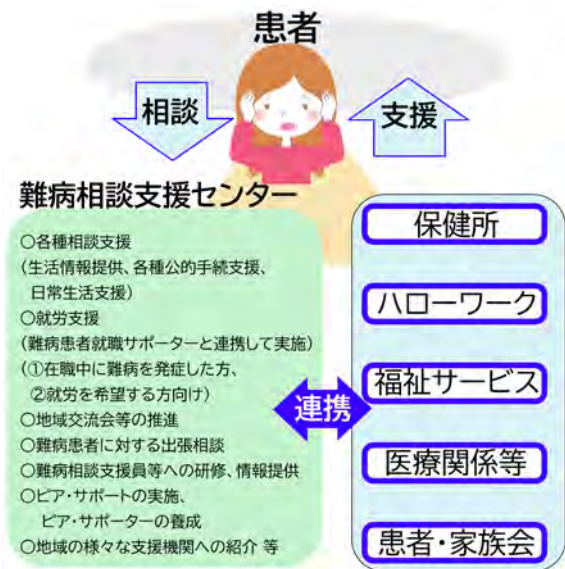
支出額計 25,613

難病相談支援センター事業(県委託)2023年度

「難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）」においても、難病相談支援センターは重要な機関の一つとして位置づけられ、さらなる機能向上が求められている。

「難病の患者が地域で安心して療養しながら暮らし続けることができるよう、難病の患者に対する相談・支援、地域交流活動の促進及び就労支援などを行う拠点施設として設置され、難病の患者等の療養上、日常生活上での悩みや不安の解消、孤立感や喪失感の軽減を図るとともに、難病の患者等のもつ様々なニーズに対応し、医療機関をはじめとする地域の関係機関と連携した支援対策を一層推進するもの」とされている。

沖縄県においては、平成17年からアンビシャスが受託し、難病相談支援事業を行っています。地域連携は、保健所を中心に、労働関係者はハローワークや沖縄産業保健総合支援センターと、医療関係者は医師、訪問看護師やセラピストと連携。また患者・家族会には定例会等の周知活動を中心に実施している。



相談者、相談方法別相談件数（延べ件数）

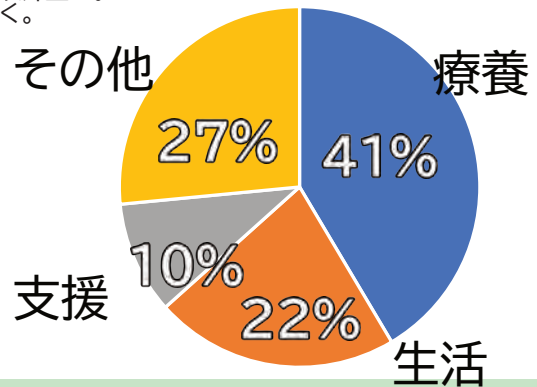
2023年4月1日～2024年3月31日

事項	相談者			計
	患者	家族	その他	
電話	349	96	196	641
面談	48	21	13	82
メール	56	11	17	84
その他	38	7	11	56
計	491	135	237	863

*相談件数の「その他」は、支援者、患者会、友人・知人など、患者、家族以外全て。
*非常時電源確保相談件数、小児慢性自立支援、関係機関との調整などを除く。

相談対象者の相談内容件数（重複カウントあり）

病気の理解	174
治療法の選択の意思決定	42
治療計画	24
医療機関・医師	59
療養場所	26
病状管理	51
栄養・代謝管理	2
医療処置管理	13
薬物療法	6
コミュニケーション方法	48
日常生活動作	10
保健・医療・福祉	34
療養生活全般	63
家族	31
経済	78
学業	5
就労	225
療養生活支援態勢	126
支援方法	16
センター事業関係	334
当事者活動への支援	37
その他	2



主な相談内容

1. センターが実施している機器の貸出、患者家族の交流会などへの参加に関する内容が多く占める。
2. 療養生活における難病を抱えての不安や課題・緊急時の対処など。
3. 就労においては、難病を抱えてどう就労に向き合うかなど
4. 医師や医療機関の選択や主治医とのコミュニケーションなど。

相談内容の詳細はこちらから→

<http://www.ambitious.or.jp/about/kessan/2022/#itaku>

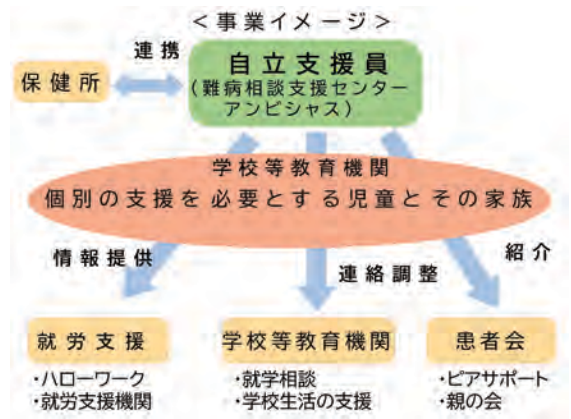


小児慢性特定疾病児童等自立支援事業(委託)

(沖縄県と那覇市から委託を受けている)

目的

小児慢性特定疾病児童等の成人後の自立が円滑に進むよう、小児期から成人期にかけて切れ目のない支援を行う必要がある。このため、小児慢性特定疾病児童等自立支援員による各種支援計画の作成、関係機関との連絡調整等を実施することにより、小児慢性特定疾病児童等の自立促進を図る。



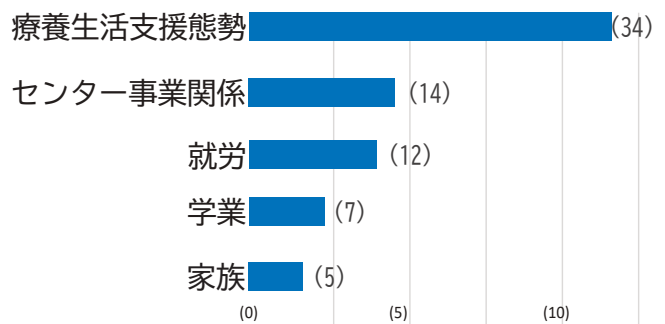
事業対象

- 1 小児慢性特定疾病児童等の健康、教育等の状態に照らして、成人後に、生活の自立や一般就労が可能と考えられる児童のうち、円滑な自立・就労のために、個別支援を行うことが適当と思われる者を対象とする。
- 2 支援の時期については、必ずしも就職活動中又はその直前の時期に限らず、必要がある場合には、幼少期からの支援を実施する。
- 3 障害者総合支援法等の障害者福祉施策や発達障害者支援法に基づく発達障害者支援施策等による支援を行うことが適当な者については、まずはそれらによる対策を優先させる。

年齢別・相談方法別相談件数 (2023年度) 県委託分のみ

事項	年齢区分					計
	11歳以下	12-14	15-17	18歳以上	不明	
電話相談	3	6	9	7	14	39
面談	0	0	4	1	0	5
その他	2	2	2	0	5	11
計	5	8	15	8	19	55

相談支援内容(上位5つ)



【講演会・研修会等】

- 8月7日(月曜日) 『先輩に聞いてみよ!』 (児童対象)
- 8月8日(火曜日) 『父母しゃべり場』 (両親対象)
- 12月26日(月曜日) 『クリスマス会』

【関係機関との連絡調整等】

- 研修会受講 4回
- 事業説明および周知 23か所(医療機関など)

【周知広報】

事業開始にあたり、各種関係機関への周知を実施

設置場所

1. 県内高等学校(公立(全日/定時)・私立): 計80校
2. 医療機関(病院・クリニック): 5施設(+診察室3) 計8か所
3. 保健所・本庁ロビー: 7か所



設置イメージ

案内カード→



本事業の詳細はこちらから↓



<http://www.ambitious.or.jp/syouni/>

難病患者人工呼吸器用外部バッテリー等貸与事業(県補助事業)

目的

在宅において人工呼吸療法を受けている患者（以下「在宅療養患者」という。）の停電時等における安全確保のため、県は在宅療養患者に対する人工呼吸療法を実施する医療機関等に対し、在宅療養患者に無償で貸与する予備電源等の物品の購入に要する経費について補助を行い、緊急時における在宅療養患者の安全及び安心をより確実なものとすることを目的とする。医療機関・保健所と連携し、アンビシャスが説明・設置を実施。

背景

2011年に起きた東日本大震災に伴う計画停電により人工呼吸器を装着した患者が困難をきたした。また、同年沖縄県内では巨大台風接近に伴い、人工呼吸器を装着した成人や小児の安心を支えるため本事業が実施された。

意義

他府県でみられる貸与事業は、単に発電機等の貸与機器引き渡しだけの実施で終わるが、沖縄県では機器の選定における利点やリスクを事前説明。設置後もより安全に機器を使用をし、より安心な療養生活を支える。

また、利用者への説明は保健所と連携し、レスキューファイル、家具転倒防止、備蓄など防災知識の向上を目指している。成人・小児のバッテリー等（発電機含む）貸与事業を行う中で、災害時の対応等をきめ細かく啓発している。

2023年度の予算と執行件数

対象	予算	申請者		確定	
		人数	件数	人数	件数
小児	3,601,000	21	35	15	26
成人	1,470,000	9	9	9	9

(小児)：小児慢性特定疾病受給者

2014年度以降- 累計総額:27,525,000円

(成人)：指定難病受給者

2012年度以降- 累計総額:22,556,000円

課題

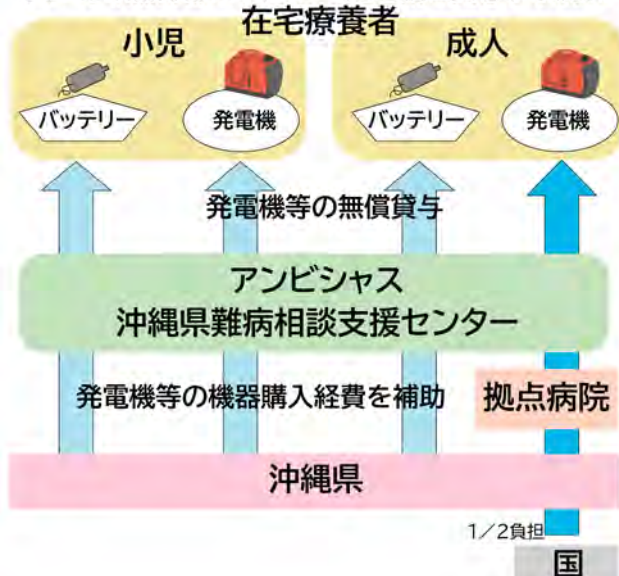
貸与後、運用・保守点検は本来、利用者自身で管理すべきだが、定期点検できずに故障したケース、機器の耐容年数経過で稼働しないケースが発生している。

予算より多くの申請があり抽選で対象を決定したことから落選者は災害対策が出来ていない。

発電機は排気ガス問題、蓄電池は容量不足とどちらにしても長時間の停電には対応できない。



人工呼吸器外部バッテリー・発電機を貸与する流れ



貸与対象発電機の種類 (指定難病(成人)は”C”のみ)



A：発電機
(ガソリン式)
YAMAHA EF2500i



B：発電機
(プロパンガス)
Denyo GE-900P



C：発電機
(プロパンガス)
HONDA EU9iGP



D：ポータブル蓄電池
EcoFlow RIVER2 pro



E：ポータブル蓄電池
BLUETTI_EB70S

貸与事業の詳細
はこちらから→



患者会・当事者活動支援

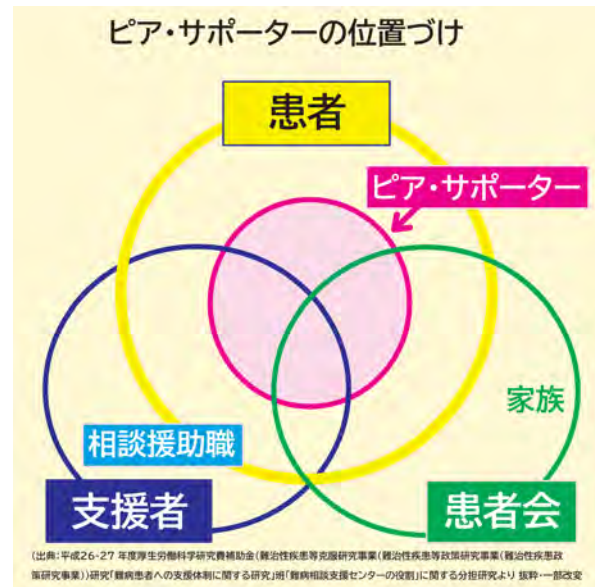
目的

同じ病を抱え不安を抱えた患者・家族のよりどころとする患者会の設立を発起人および保健所と連携し支援してきた。自主運営が出来るまでの支援と自主運営後の広報・研修支援をすることで、不安を抱えている患者・家族を支える社会資源とし連携していく。

また、難病ピア・サポートとは、難病を抱えて生きる同じ立場の者同士の支え合いと位置づけ、同じ疾患の患者と出会う機会が少ない難病では、患者は孤立感を感じる事が多く、専門職による相談支援に加え、「共感」をキーワードとするピア・サポートは重要な役割を持っていることから、ピア・サポーター養成の実施と活動の支援をすることを目的とする。

現状と課題

アンビシャスが行う患者会への支援として、交流会や総会のイベント周知を中心に実施している。患者会の課題として後継者問題やコロナ禍において持病を持つ会員の感染拡大への不安により対面での定例会を開催することが出来ていなかった団体もある。すでに再開している団体もあり、交流会の再開に向けて模索している団体もあることから、アンビシャスとして各団体の状況を把握しつつ、各団体のニーズの聞き取り対応可能な情報提供や機器の貸出、マンパワーの提供をしていきたい。



県内患者会・交流会

患者会 12団体
交流会 7団体
(詳細は下記QRコードから参照)



例年通りの継続支援

- スケジュール等の周知支援 (会報誌・WEB・新聞)/毎月
- ヘルスケア関連団体学習会 (患者会リーダー向け学習会) VHO-net/開催 2回
- イベント時の支援、印刷支援・機器貸出など/随時

オンライン交流会

- ゆんたく会
オンライン開催：12回
参加人数：のべ 58名
- 各疾患ごとの患者会とは別に、疾患に関係なく患者同士の交流会（ゆんたく会）を試験的にオンラインで実施中。将来的に自助グループとして自主運営できる自律を目指す。

ピア・サポーター研修

- 基礎編
オンライン開催：5日間
参加人数：7名
- 応用編
オンライン開催：5日間
参加人数 9名

県内患者会の
詳細はこちらから



研修会・その他事業

■難病医療相談会

目的

アンビシャスで行う難病医療相談会は1組30分の時間を取り、事前に質問事項や病状を伺い、各難病専門医による詳しい説明が受けられる様にする事で、疾患について患者自身の理解を深め、今後の療養生活に役立てることを目的とする。

今年度のべ 7回 23組 過去14年累計 179組(55回)



神経系疾患

沖縄病院 渡嘉敷 崇 先生

2023年 8月18日 相談者 4組
2023年 9月 8日 相談者 4組
2023年10月13日 相談者 3組
2024年 3月 1日 相談者 2組



肝臓系疾患

浦添総合病院 前城 達次 先生

2023年10月14日 相談者 2組



膠原病系疾患

新健幸クリニック 小禄 雅人 先生

2023年10月 7日 相談者 3組
2024年 2月17日 相談者 5組

下垂体系疾患2023年 9月15日 相談者 0組
腎臓系疾患 2023年11月11日 相談者 0組
消化器系疾患2023年12月 9日 相談者 0組

■メンタルヘルス講座

目的

難病という大きなストレスを抱えた状態でどう難病と付き合っていくのかを学び健やかに過ごせることを目的とする。

手法

ストレスが及ぼす心と身体への影響、病気のとらえ方、ストレス解消法、マインドフルネス瞑想法などを、公認心理師（臨床心理士）が事前・事後の心理テスト、講座、対話を通じ実践へと進めるようにする。



講義の様子

2021年当時の写真

期間：3か月コース

開催日：2024年 1月27日（土）

2月24日（土）

3月24日（土）

参加者：3名(会場・オンライン参加)

過去7年累計：46名

難病を持つ方のストレスとの付き合い方
～セルフコントロール～

講師 沖縄国際大学 教授
公認心理師 臨床心理士
上田 幸彦 先生

難病情報周知啓発活動

目的

難病に関する正しい知識をもち療養にあたることができよう毎月会報誌を発行して難病情報を届ける。

背景

難病は希少な疾病のため身の回りに同じ病気を抱える人が少なく、情報収集をインターネットの検索に頼ることが多い。本来は病院から情報を得ることが大切であるが、短い診察時間では限界がある。どこの誰に相談したら良いのか分からず孤立している方は少なくない。

活動内容

難病情報誌は、紙媒体での郵送を基本とし、視覚障害者向けとして音声版CD、メールマガジンでの同時発信としている。また、気軽に情報を得られることを目指し、利用者の多い公式LINEでの発信も実施。

難病患者の体験談、各種講演会等のイベント紹介、患者会で開催する定例会や保健所のイベントなどの周知に加え、患者力の向上を目指す加藤眞三医師によるコーナー、心の悩みや不安解消を目指す公認心理師（臨床心理士）鎌田依里氏のコーナー、正しい服薬を目指す薬剤師会の吉田典子氏のコーナーを設けている。



難病会報誌、相談会など
お役立ち情報をお届け♪

LINE公式
アカウント

スマホでQRコードを
スキャンしてください

スマホ画面のイメージ



会報誌の表紙

2023年度 251号～262号の表紙の方々
(バックナンバーは下記QRコードから)

251号
クローン病



254号
先天性リンパ浮腫



257号
もやもや病



260号
網膜色素変性症



252号
混合性結合組織病



255号
パーキンソン病



258号
進行性骨化性繊維異形成症



261号
多発性硬化症



253号
全身性エリテマトーデス



256号
クローン病



259号
IgG4関連疾患



262号
筋萎縮性側索硬化症



会報誌一覧はこちらから



<http://www.ambitious.or.jp/magazine/>

機器無料レンタル事業（お試し用）

■ コミュニケーション支援関連機器



アンビシャスでは難病により人工呼吸器を装着され、ご自身の声で想いが伝えられなくなった方々の支援の一つとして、コミュニケーション支援機器やその関連機器の無料レンタルを実施している。

コミュニケーション支援機器の購入を検討するにあたり、その機器が使用者本人の身体状況と適合しているか、その機器を操作するスイッチは何が最適なのか等を購入前に実機で試すことにより、納得のいく機器の選択をサポートすることを目的とする。

● 意思伝達装置（本体） 8 種類 計 12台



ファインチャット

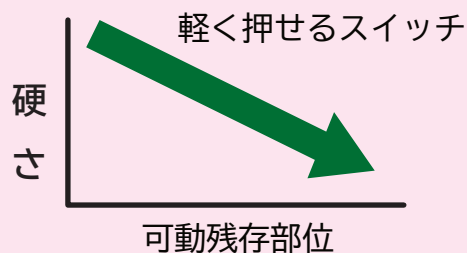


伝の心



視線入力装置

利用者疾患の進行に応じ、動作可能な身体部位にあったスイッチを速やかに適合する必要がある。



● 意思伝達装置用（スイッチ） 11種類



ファイルケース式スイッチ

ジェリービーンスイッチ、
フィルムケース式スイッチ
他既製品スイッチ
他、手作りスイッチ、
手作りチャイム複数種類

2023無償レンタル件数 113件
2011-2023累計 1,297件

■ その他福祉機器

低圧持続吸引機、足踏み吸引機、上肢支持アームMOMOなど



■ ポータブル蓄電池

蓄電池 10種類 49台 ソーラーパネル 4種類 7台



これまでの貸出機器贈呈の団体及び支援者

米国福祉事業協会(AWWA)様、沖縄国際婦人クラブ(OIWC)様、那覇西ロータリークラブ様、他匿名(5名)様
クラウドファンディングによる「マイトビー」購入支援者様、田辺三菱製薬様、JackeryJapan様

皆さまのご支援でこのように貸出機器が充実し、
利用者の方々に大変喜んで頂いています。
誠にありがとうございます！

詳細はこちらから



2024年4月18日

特定非営利活動法人アンビシャス
理事長 迫 幸治 殿

特定非営利活動法人アンビシャス

監事 大城 拓 

特定非営利活動法人アンビシャス 2023年度

監事は、特定非営利活動法人アンビシャスの2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度における事業報告書及び活動計算書及び貸借対照表を監査した結果、次のとおり報告いたします。

監査の方法及び概要

2023年度の会計帳簿及び領収書類などを閲覧し、必要事項について報告を受け監査を行いました。

活動計算書及び貸借対照表は、特定非営利活動法人アンビシャスの定義に従い、その財産及び収支の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

財務報告 活動計算書 Activity statement

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 アンビシャス

科目	金額 (単位: 円)	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	39,000	
賛助会員受取会費	1,714,000	1,753,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	11,200,437	11,200,437
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	100,000	
受取地方公共団体補助金	5,071,000	5,171,000
4. 事業収益		
相談事業収益	9,462,000	
就労支援事業収益	3,790,856	
広報事業収益	980,000	14,232,856
5. その他収益		
受取利息	129	
雑収益	630,990	631,119
経常収益計		32,988,412
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	11,440,133	
法定福利費	1,542,583	
福利厚生費	3,900	
人件費計	12,986,616	
(2) その他経費		
売上原価	308,310	
作業・就労支援	670,042	
報償費	190,234	
印刷製本費	1,105,665	
旅費交通費	310,789	
通信運搬費	1,595,601	
消耗品費	7,376,609	
減価償却費	14,460	
地代家賃	814,410	
水道光熱費	161,874	
賃借料	11,088	
研修費	2,000	
接待交際費	51,308	
雑費	14,120	
その他経費計	12,626,510	
事業費計		25,613,126
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	3,480,759	
法定福利費	267,630	
福利厚生費	280,505	
人件費計	4,028,894	
(2) その他経費		
印刷製本費	28,740	
減価償却費	28,945	
地代家賃	120,000	
修繕費	38,500	
旅費交通費	73,535	
通信運搬費	300,793	
租税公課	710,000	
接待交際費	44,945	
消耗品費	658,867	
諸謝金	566,500	
支払手数料	114,006	
雑費	150,758	
その他経費計	2,806,644	
管理費計		6,835,538
経常費用計		32,448,664
当期経常増減額		539,748
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		539,748
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000
当期正味財産増減額		469,748
前期繰越正味財産額		18,157,435
次期繰越正味財産額		18,627,183

財務報告 貸借対照表 Balance sheet

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 アンビシャス

科 目	金 額 (単位: 円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,601,289		
棚卸資産	57,060		
前払費用	86,000		
未収金	3,588,681		
未収還付法人税等	9		
立替金	1,043		
流動資産合計		18,334,082	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	14,414		
有形固定資産計	14,414		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資有価証券	3,000,000		
投資その他の資産計	3,000,000		
固定資産合計		3,014,414	
資産合計			21,348,496
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	704,145		
未払費用	1,286,315		
未払法人税等	70,000		
未払消費税等	324,300		
預り金	66,922		
カード未払金	269,631		
流動負債合計		2,721,313	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,721,313
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		18,157,435	
当期正味財産増減額		469,748	
正味財産合計			18,627,183
負債及び正味財産合計			21,348,496

財務報告 財産目録 Property inventory

2024年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 アンビシャス

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	16,661	
沖縄銀行普通預金	1,493,362	
沖縄海邦銀行普通預金	3,027,620	
沖縄海邦銀行普通預金	4,628,133	
沖縄海邦銀行普通預金	3,973,083	
ゆうちょ銀行振替口座	457,918	
ゆうちょ銀行通常貯金	416,263	
琉球銀行普通預金	588,249	
沖縄労働金庫普通預金		
棚卸資産		
販売用電源装置	37,560	
販売用書籍	12,000	
販売用指笛	7,500	
前払費用		
4月分家賃	55,000	
4月分駐車料金	20,000	
翌期以降手数料	11,000	
未収金		
地方公共団体委託金	3,413,000	
広告掲載収益	70,000	
未精算経費・事務委託料	49,380	
手数料収益	36,300	
クレジットカード・コンビニ決済寄付	13,000	
地方公共団体補助金	7,000	
販売未収備忘価額	1	
立替金		
雇用保険料	1,043	
未収還付法人税等		
当年度還付法人税等	9	
流動資産合計		18,334,082
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品		
貸与用備品	2	
事務所備品	14,412	
有形固定資産計	14,412	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資有価証券		
(株)パートナー	3,000,000	
投資その他の資産計	3,000,000	
固定資産合計		3,014,414
資産合計		21,348,496
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
3月分社会保険料	341,122	
3月分後納郵便料	104,286	
3月分会報誌印刷料	86,625	
3月分税理士報酬	49,407	
3月分消耗品代	48,191	
3月分コピーカウンター料	35,044	
3月分通信料	24,838	
3月分水道光熱費	10,782	
3月分メールサービス	2,420	
3月分未精算諸経費	1,430	
未払費用		
3月分給与	1,286,315	
未払法人税等		
当年度法人税等	70,000	
未払消費税等		
当年度消費税等	324,300	
預り金		
源泉所得税	66,922	
カード未払金		
3月分カード決済諸経費	269,631	
流動負債合計		2,721,313
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		2,721,313
正味財産		18,627,183

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NP0法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NP0法人 会計基準協議会）によっています。

1. 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

2. 固定資産の減価償却方法

定率法を採用しております。

3. 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込方式を採用しております。

2. 重要な会計方針の変更

消費税等の会計処理方法は、従来税抜方式を採用しておりましたが、当期から税込方式により処理することといたしました。

3. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位：円)

科目	相談事業	就労支援事業	広報事業	合計
(1) 人件費				
給料手当	7,485,218	2,658,915	1,296,000	11,440,133
法廷福利費	1,023,265	312,008	207,310	1,542,583
福利厚生費	0	0	3,900	3,900
人件費計	8,508,483	2,970,923	1,507,210	12,986,616
(2) その他経費				
売上原価	209,000	99,310	0	308,310
作業・就労支援	15,360	0	654,682	670,042
報償費	139,506	0	50,728	190,234
印刷製本費	25,435	117,625	962,605	1,105,665
旅費交通費	277,069	0	33,720	310,789
通信運搬費	291,905	161,452	1,142,244	1,595,601
消耗品費	7,128,544	98,791	149,274	7,376,609
減価償却費	0	14,460	0	14,460
値代家賃	756,000	58,410	0	814,410
水道光熱費	161,874	0	0	161,874
賃借料	11,088	0	0	11,088
保険料	2,000	0	0	2,000
研修費	0	0	51,308	51,308
接待交際費				
雑費	1,945	5,500	6,675	14,120
その他経費計	9,019,726	555,548	3,051,236	12,626,510
合計	17,528,209	3,526,471	4,558,446	25,613,126

4. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は18,157,435円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	登記減少額	期末残高	備考
沖縄県補助金		5,071,000	5,071,000		沖縄県難病患者人工呼吸器外部バッテリー等貸与事業の補助金
RDD開催助成金		100,000	100,000		世界希少・難治性疾患の日(RDD)公認開催助成金
合計	0	5,171,000	5,171,000	0	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	機種取得価値	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計費	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	3,090,048	0	0	3,090,048	△3,075,634	14,414
その他の有形固定資産	405,796	0	0	405,796	△405,796	0
無形固定資産	0					
ソフトウェア	988,400	0	0	988,400	△988,400	0
投資その他の資産	0					
投資有価証券	3,000,000	0	0	3,000,000		3,000,000
合計	7,484,244	0	2	7,487,442	△4,469,830	3,014,414

6. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書)			
受取寄付金	11,200,437	0	6,000,000
給与手当(事業費)	11,440,133	4,567,500	0
活動計算書 計	22,640,570	4,567,500	6,000,000

2023年度 寄付金一覧 DONATION LIST 1

2023年4月1日～2024年3月31日

合計174件

NO	月	日	名 前	金 額(円)
1	4	3	てだこボウル	11,595
2	4	3	匿名	5,000
3	4	4	匿名	3,000
4	4	5	株式会社鹿児島銀行	100,000
5	4	10	有限会社麦飯石の水	64,549
6	4	11	揚羽屋	1,000
7	4	17	匿名	5,000
8	4	18	匿名	2,000
9	4	21	匿名	1,000
10	4	21	株式会社かね屋	1,000
11	4	28	匿名	5,000
12	4	28	渡久山 光宏	2,500
13	4	28	平良 誠	1,500
14	4	28	座覇 太美子	1,500
15	4	30	沖銀smart募金 (16件)	34,350
16	5	1	有限会社麦飯石の水	25,001
17	5	4	匿名	3,000
18	5	8	匿名	5,000
19	5	9	CRMCs.groove	3,000
20	5	11	匿名	5,000
21	5	19	徳元 菜乃 (物品: エアポンプ)	3,000
22	5	22	匿名	1,000
23	5	22	株式会社かね屋	1,000
24	5	26	渡久山 光宏	2,500
25	5	26	平良 誠	1,500
26	5	26	座覇 太美子	1,500
27	5	29	匿名	5,000
28	5	31	沖銀smart募金 (9件)	10,700
29	6	5	匿名	50,000
30	6	8	有限会社麦飯石の水	63,382
31	6	8	ホテルまるき	5,589
32	6	8	慶田盛 克磨	3,000
33	6	11	イオン琉球株式会社	126,200
34	6	12	匿名	5,000
35	6	15	匿名	10,000
36	6	19	株式会社大央ハウジング	100,000
37	6	19	匿名	5,000
38	6	21	匿名	1,000
39	6	21	株式会社かね屋	1,000
40	6	26	喜納 美和	10,000
41	6	28	匿名	5,000
42	6	30	渡久山 光宏	2,500
43	6	30	平良 誠	1,500
44	6	30	座覇 太美子	1,500
45	6	30	沖銀smart募金 (7件)	6,800
46	7	4	匿名	3,000
47	7	6	匿名	2,000
48	7	7	匿名	500
49	7	7	ピュアペットクリニック 野中 哲	100,000
50	7	13	株式会社セイアン	20,000

NO	月	日	名 前	金 額(円)
51	7	21	株式会社かね屋	1,000
52	7	26	匿名	30,000
53	7	26	株式会社サンシャイン	73,000
54	7	28	渡久山 光宏	2,500
55	7	28	平良 誠	2,000
56	7	28	座覇 太美子	2,000
57	7	31	全保連株式会社	6,000,000
58	7	31	沖銀smart募金 (13件)	10,400
59	8	2	匿名	100,000
60	8	4	匿名	3,000
61	8	4	匿名	100,000
62	8	8	医療法人麻の会 首里城下町クリニック	50,000
63	8	17	有限会社 麦飯石の水	37,516
64	8	21	匿名	50,000
65	8	21	匿名	3,000
66	8	21	株式会社いなんせ典礼	120,000
67	8	21	匿名	1,000
68	8	21	株式会社 かね屋	1,000
69	8	25	渡久山 光宏	2,500
70	8	25	平良 誠	2,000
71	8	25	座覇 太美子	2,000
72	8	31	沖銀smart募金 (13件)	14,100
73	9	1	匿名	50,000
74	9	1	上地 由紀子	5,000
75	9	2	古堅 スミ子	10,000
76	9	2	山元 勝成	10,000
77	9	4	匿名	3,000
78	9	5	沖縄トヨタ自動車株式会社	9,868
79	9	6	三和金属株式会社	100,000
80	9	7	渡部 純夫	20,000
81	9	15	匿名	2,000
82	9	20	米国Salesforce	77,774
83	9	21	匿名	1,000
84	9	21	株式会社かね屋	1,000
85	9	22	渡久山 光宏	2,500
86	9	22	平良 誠	2,000
87	9	22	座覇 太美子	2,000
88	9	25	てだこボウル	8,634
89	9	29	つながる募金 (ソフトバック (株))	1,000
90	9	30	沖銀smart募金 (12件)	10,200
91	10	3	与那覇 博一	5,000
92	10	4	匿名	3,000
93	10	4	匿名	20,000
94	10	13	匿名	2,000
95	10	13	萩原 祥禎	50,000
96	10	17	匿名	5,000
97	10	17	有限会社 麦飯石の水	46,173
98	10	19	匿名	5,000
99	10	19	株式会社いなんせ典礼	6,097
100	10	20	匿名	5,000

日付順に掲載※敬称は省略させていただきます。※お名前の開示は承諾を得ています。

【小計】 7,899,428

2023年度 寄付金一覧 DONATION LIST 2

2023年4月1日～2024年3月31日

NO	月	日	名 前	金 額(円)
101	10	20	株式会社メガネ一番	414,782
102	10	20	富名腰 義裕	5,000
103	10	23	匿名	1,000
104	10	23	株式会社かね屋	1,000
105	10	24	匿名	3,000
106	10	27	平良 誠	3,750
107	10	27	座覇 太美子	3,750
108	10	31	沖銀smart募金 (13件)	12,400
109	11	1	上里 敬子	10,000
110	11	4	匿名	3,000
111	11	10	匿名	2,000
112	11	13	匿名	5,000
113	11	21	匿名	1,000
114	11	21	株式会社かね屋	1,000
115	11	24	平良 誠	3,250
116	11	24	座覇 太美子	3,250
117	11	29	長嶺 元陽	200,000
118	11	30	ジョッキハウス	13,288
119	11	30	沖銀smart募金 (13件)	11,200
120	12	1	匿名	1,313
121	12	4	匿名	3,000
122	12	7	匿名	3,000
123	12	11	山城 眞智子	3,000
124	12	11	有限会社 麦飯石の水	42,849
125	12	12	医療法人照道会 ひめゆり歯科医院	5,982
126	12	15	サンクス	2,034
127	12	18	今村 昌幹	10,000
128	12	19	首里キャスルライオンズクラブ	50,000
129	12	21	匿名	1,000
130	12	21	株式会社かね屋	1,000
131	12	22	平良 誠	3,250
132	12	22	座覇 太美子	3,250
133	12	26	政岡 さおり	2,000
134	12	27	打田 寛臣	3,000
135	12	30	仲村 一真	10,000
136	12	31	岸本 隆一	100,000
137	12	31	沖銀smart募金 (13件)	8,200
138	1	1	ギーザック 泉	10,000
139	1	4	匿名	3,000
140	1	5	伊藤 浩二	30,000
141	1	12	大城 志津子	50,000
142	1	19	匿名	3,000
143	1	22	匿名	10,000
144	1	22	匿名	1,000
145	1	22	株式会社かね屋	1,000
146	1	26	平良 誠	3,500
147	1	26	座覇 太美子	3,500
148	1	29	株式会社サンシャイン	75,000
149	1	29	匿名	9,138
150	1	30	米国福祉事業協会 (AWWA)	2,000,000

NO	月	日	名 前	金 額(円)
151	1	30	CRMCS. Groove 吉田 圭吾	210
152	1	31	沖銀smart募金 (12件)	9,000
153	2	2	メキシコ雑貨 tope	11,307
154	2	4	匿名	3,000
155	2	5	源河 朝治	10,000
156	2	5	米国Salesforce	3,455
157	2	6	有限会社 麦飯石の水	40,748
158	2	6	上田 肇	3,000
159	2	11	伊良部 鳳大	3,000
160	2	16	匿名	2,000
161	2	21	匿名	1,000
162	2	21	株式会社かね屋	1,000
163	2	29	沖銀smart募金 (12件)	14,303
164	3	1	平良 誠	3,250
165	3	1	座覇 太美子	3,250
166	3	4	匿名	3,000
167	3	7	匿名	10,000
168	3	7	米国Salesforce	8,000
169	3	21	匿名	1,000
170	3	21	株式会社かね屋	1,000
171	3	22	平良 誠	2,750
172	3	22	座覇 太美子	2,750
173	3	29	匿名	2,000
174	3	31	沖銀smart募金 (10件)	12,300

【2ページ小計】 3,301,009

●2023年度寄付金総額
11,190,437円



株式会社大央ハウジング 様



株式会社メガネ一番 様



首里キャスルライオンズクラブ様



イオン琉球株式会社 様



米国福祉事業協会 (AWWA) 様

2023年度 法人賛助会員 SUPPORTING MEMBERS

法人賛助会員(10,000円/年) 法人賛助会員 118法人

	法人名 (あいうえお順) 敬称略
1	株式会社K.Turtles
2	合同会社 ONE live
3	株式会社アイアム
4	株式会社アクティブ
5	いくみ皮ふ科クリニック
6	株式会社いなんせ典礼
7	エクスプロア訪問看護ステーション
8	おおにし医院
9	岡野法律事務所
10	有限会社 沖縄矢崎販売
11	おもと会 統括リハビリテーション部
12	オリオンビール株式会社
13	かりまた内科医院
14	株式会社クオサ (クニオフィス)
15	くすみ薬局
16	株式会社ケアコネクト
17	こころクリニック
18	こばし内科クリニック
19	こもれ陽訪問看護ステーション
20	サザン歯科まえた
21	株式会社ざまみダンボール
22	さわやか歯科クリニック
23	サンクス
24	じのん整形外科クリニック
25	株式会社 住宅管理コンサルタント
26	しゅくみね内科
27	株式会社 舜
28	しんざと内科
29	有限会社 スタプランニング
30	すながわ内科クリニック
31	有限会社タカラ (高良 繁美)
32	株式会社チエロ (cielo)
33	有限会社ディー・ランド
34	有限会社ティダエステート
35	株式会社 テルソウ
36	テルモ株式会社沖縄支店
37	株式会社 ドウ・オキナワ
38	独立行政法人国立病院機構 沖縄病院
39	どこでもWork株式会社
40	株式会社長堂材木店
41	なかむら内科おなかクリニック
42	有限会社 ナンセイ日本商事
43	日本交通株式会社
44	ねたて内科クリニック
45	有限会社 ハート住宅
46	ハートライフ病院
47	ハーモニー薬局 寄宮店
48	はいさいクリニック
49	はびねず訪問看護ステーション
50	光クリニック
51	ふたば訪問看護ステーション
52	有限会社プログレス
53	訪問看護ステーション みかん
54	株式会社 ホープネクスト
55	株式会社ホープ住宅
56	又吉内科クリニック
57	まつおTCクリニック
58	まみ皮フ科クリニック
59	株式会社まる不動産
60	みやぐに皮フ科

	法人名 (あいうえお順) 敬称略
61	株式会社メガネ一番
62	ゆずりは訪問診療所
63	ライフホームズ株式会社
64	ワンズトラスト株式会社
65	愛聖クリニック
66	伊佐内科クリニック
67	医療法人かなの会 コザクリニック
68	稲福内科医院
69	浦添さかい眼科
70	沖映通り眼科
71	株式会社 沖縄ネット不動産
72	沖縄メディカル訪問看護ステーション
73	沖縄県農業協同組合
74	恩納クリニック
75	外間眼科医院崇元寺
76	株式会社 興ハウジング
77	空と海とクリニック
78	玄米クリニック
79	高良登記測量事務所
80	株式会社 国建
81	首里城下町クリニック第一
82	首里城下町クリニック第二
83	松城クリニック
84	松本歯科クリニック
85	株式会社 上咲組 (かみさきぐみ)
86	城間クリニック
87	有限会社 新地開発
88	神谷医院
89	有限会社 仁開商事
90	前田胃腸科医院
91	有限会社 太陽印刷
92	株式会社大央ハウジング
93	株式会社大成ホーム
94	大和商工 株式会社
95	中部協同病院
96	中部地区医師会 訪問看護ステーション
97	仲本病院
98	潮平病院
99	那覇かなぐすく皮膚科
100	南西医療器株式会社
101	南部徳洲会病院
102	有限会社 麦飯石の水
103	比嘉歯科医院
104	訪問看護ステーション 縁
105	訪問看護ステーションいやしの邦
106	訪問看護ステーションうんな
107	訪問看護ステーションおもととよみの杜
108	訪問看護ステーションこころのかて
109	訪問看護ステーションちゅらぐる
110	訪問看護ステーションはっぴー
111	訪問看護ステーションבקじ
112	有限会社北辰ハウジング
113	北部皮フ科クリニック
114	牧港眼科
115	有限会社 名桜不動産
116	株式会社名城
117	株式会社 琉行
118	嶺井第一病院

2023年度 個人賛助会員 SUPPORTING MEMBERS

法人賛助会員数 118 団体

個人賛助会員数 178 名

賛助会員合計 296 会員

個人賛助会員(3,000円/年)

	お名前 (あいうえお順)	敬称略
1	赤嶺 典子	
2	赤嶺 博子	
3	天久 佑希子	
4	新垣 恵子	
5	伊敷 美咲	
6	井藤 善夫	
7	打田 寛臣	
8	宇良 富江	
9	大城 逸子	
10	大城 薫	
11	川口 美怜	
12	川平 三秀	
13	岸本 綾乃	
14	金城 福則	
15	金城 光子	
16	久貝 清	
17	具志堅 満昭	
18	久保田 淑子	
19	黒木 恵子	
20	桑江 良榮	
21	近藤 力	
22	崎浜 里江子	
23	島 かおり	
24	島袋 恵	
25	下地 ヒロ子	
26	新城 健一	
27	砂川 竹子	
28	平良 邦雄	
29	高橋 政子	
30	高良 朋子	
31	竹田 利恵子	
32	田里 秀美	
33	津覇 直也	
34	出花 秀子	
35	照喜名 将吾	
36	照屋 兼一	
37	照屋 幸子	
38	桃原 健二	
39	渡口 正	
40	友利 潤子	
41	豊川 加代子	
42	豊川 喜世子	
43	仲宗根 清美	
44	仲村 明	
45	仲村 けい子	
46	仲村 みどり	
47	並里 摩利子	
48	西平 正子	
49	萩原 祥禎	
50	花城 廣	

	お名前 (あいうえお順)	敬称略
51	比嘉 正秀	
52	比嘉 佑一郎	
53	東 与一	
54	日野 成子	
55	比屋根 美智子	
56	譜久村 良三	
57	富名腰 一郎	
58	富名腰 義裕	
59	前里 清子	
60	真栄城 京子	
61	前田 真頭	
62	政岡 さおり	
63	松井 玉恵	
64	松尾 日出輝	
65	宮城 義正	
66	武藤 徹太郎	
67	盛小根 光子	
68	吉田 晋介	
69	与那覇 正規	
70~107 匿名希望		

募金箱設置協力店 DONATION BOX INSTALLATION

順不同 敬称略 2024/03/31現在

フォーモストブルーシール北谷店	沖縄トヨタ株式会社 トヨタウソ港川店
てだこボウル	沖縄トヨタ株式会社 トヨタウソ松本店
西崎オートサービス	沖縄トヨタ株式会社 トヨタウソシーサイド店
マリンショップぶくぶく	山城二輪
水のサンクス	社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部
株式会社琉薬	全保連株式会社
恒和ペイント株式会社	全保連コントロールセンター
さわやか歯科クリニック	有限会社だいにちシール
auショップ久茂地店	株式会社かりさら
沖縄県栄養士会	上間菓子店
T-SHIRT-YA.COM国際通り店	HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店
T-SHIRT-YA.COM北谷店	2DaTOP(ツダトップ)ダンススタジオ
カラカラとちぶぐわ〜	株式会社いなんせ典礼
ジョッキハウス	照正組
しゃしんやきんちゃんDigi-pit店	株式会社 K. Turtles
日本交通株式会社	有機農産物 ぱるず
有限会社 F E C オフィス	スーパーチャレンジセンターミライ
メガネ一番 各店 (21店舗)	麦飯石の水 各店 (22店舗)

計 78店舗



募金箱の設置ご協力の皆様！
ご来店のお客様及びスタッフの皆様
ご支援に深く御礼を申し上げます。

アンビシャスの概要 OVERVIEW

法人の種類	認定特定非営利活動法人
団体名(法人名称)	認定NPO法人アンビシャス
団体名ふりがな	にんてい えぬびいおうほうじん あんびしゃす
法人登記名	特定非営利活動法人アンビシャス
団体の概要	主に難病患者や家族に対し、療養や日常生活での悩み不安等の相談をうけ、その解消を図るために、患者力の向上や関係機関との連携や、情報提供・講演会・研修会を行うことで、より質の高い生活を過ごせることを目的とします。
代表者	理事長 迫 幸治 (さこ ゆきはる)
所在地	〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29グレイスハイム喜納2-1階
代表メールアドレス	info@ambitious.or.jp
電話番号	098-951-0567
FAX	098-951-0565
連絡可能時間	10時00分～17時00分
連絡可能曜日	月～金(年未年始・公休日を除く)
団体ホームページ	http://www.ambitious.or.jp
任意設立年月日	2001年 7月 4日
設立総会	2001年10月28日
法人格取得年月日	2002年 2月14日
認定NPO有効期間	2014年12月01日から 2024年11月30日まで 内閣府NPOサイト https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/047013042
法人番号	3360005000774
役員数・職員数合計	理事9名、職員6名、会員：正会員13名、賛助会員296名(法人含む) 2024年3月末現在
所轄官庁	NPO所轄：沖縄県 生活福祉部 生活安全安心課
委託事業	委託事業所轄：沖縄県 保健医療介護部 地域保健課、那覇市
第三者評価	CANPANプロジェクトは、日本財団および特定非営利活動法人CANPANセンターによる、市民、NPO、企業などの活動を支援し、連携を促進することで、民間主体のより豊かな社会づくりに貢献することを目指すソーシャルプロジェクトです。 情報開示レベル★★★★★(満点の5つ星です) http://fields.canpan.info/organization/detail/1352917999
内閣府開示	内閣府NPOホームページ 同サイトでは、全国の法人NPOを紹介しています。 当団体は下記参照 https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/047013042

アンビシャスの変遷 TRANSITION

年号	主な出来事	受給者数 沖縄県 (件)
平成13年 2001年	・膠原病友の会代表らと難病センター構想決意7月4日 ・法人化に向けて設立総会（中央保健所にて）10月28日 迫幸治理事長就任	
平成14年 2002年	・アンビシャスNPO法人化（2月14日） ・会報誌では会の意味や病名の紹介・患者会数：2団体	4,201
平成15年 2003年	・全国難病センター研究会に参加 ・匿名希望の体験談、会報誌掲載開始	4,892
平成16年 2004年	・同病の人との交流を求め会報誌体験談、顔出し開始 ・会報誌ポエム開始	5,007
平成17年 2005年	・県から難病相談・支援センター委託事業開始 ・難病シンポジウム開催・沖縄指笛発売	5,256
平成18年 2006年	・パーキンソン病・潰瘍性大腸炎問題 ・もやの会（もやもや病）発足・会報誌小嘶コーナー開始（ALS患者寄稿）	5,584
平成19年 2007年	・FOP（進行性骨化性線維異形成症）難病指定される ・うちなー紀聞テレビ放送（RBC）・看護学生在宅研修受け入れ ・VHO-net沖縄学習会開始・千羽鶴ボランティア開始	5,951
平成20年 2008年	・日本ALS協会沖縄県支部設立 ・会報誌音声版開始／ポッドキャスト配信 ・照喜名通が沖縄コロニー大賞受賞・就業支援モデル事業受託	6,360
平成21年 2009年	・難病雇用助成金開始 ・国税庁から沖縄県で初の「認定NPO法人」として認められる	6,700
平成22年 2010年	・会報誌メールマガジン配信開始 ・祝会報誌100号	6,967
平成23年 2011年	・総務省委託えんぽーと（遠隔医療支援システム）スタート ・筋無力症友の会 沖縄県支部設立	7,479
平成24年 2012年	・2月14日法人設立 満10周年・患者会数：13団体 ・日本網膜色素変性症協会沖縄支部設立	7,978
平成25年 2013年	・難病が障害範囲枠に追加される ・災害時電源確保・県委託事業（発電機設置等）	8,371
平成26年 2014年	・難病法可決成立、医療費助成110疾患から平成27年1月1日開始 ・米国婦人福祉協会AWWAの寄付金で会報誌表紙がカラー印刷化	8,703
平成27年 2015年	・平成27年7月には、306疾患が医療費助成対象となる。 障害者総合支援法で難病対象332疾患も連動して追加となる。 ・クラウドファンディングで多数の支援を得て、視線入力装置を購入	9,812
平成28年 2016年	・ハローワークの難病患者就職サポーターが出張相談会実施開始 ・QRコードを活用した災害時情報共有（えんぽーと）を開始。 ・メンタルヘルス（マインドフルネス瞑想法等）の学習会開催。	10,496
平成29年 2017年	・ホームページをスマホ用にも対応でリニューアル ・3年間の経過措置切れる／指定難病の対象疾患が330疾患に	10,184
平成30年 2018年	・在宅就労支援として沖縄指笛の製造販売を再開 ・ALSの人工呼吸器装着、療養場所調査を開始	10,318
令和元年 2019年	・在宅就労支援の強化として、クラウドファンディング実施 ・指定難病の対象疾患が333疾患に／新型コロナ流行でイベント縮小	10,333
令和2年 2020年	・医療的ケア者（児）の非常時電源確保講演等（田辺三菱製薬助成金） ・難病相談支援センター九州ブロック会議開始 ・沖縄指笛が沖縄県優良県産品「その他部門」最優秀優良県産品認定 ・那覇市ふるさと納税で沖縄指笛の提供開始	10,711
令和3年 2021年	・小児慢性特定疾病等自立支援事業開始（沖縄県・那覇市） ・公式LINE開始 ・指定難病対象疾患数が338疾患に／小児慢性特定疾病対象疾患数788疾患	11,924
令和4年 2022年	・小児慢性特定疾病等自立支援事業で10代の方対象の「しゃべり場」開催 ・公式インスタグラム（Facebook）ほぼ毎日配信開始 ・RDD2023を会場とオンラインのハイブリットを初開催	11,365
令和5年 2023年	・台風6号で長期間の停電発生、台湾地震の影響で津波避難指示発令 ・特定医療費の支給開始日の遡りに係る取扱いが、診断日へ変更 ・RDD2024「めぶく、であい、たつぱり、いっしょに。」で連携を深める	11,647

謝辞 ACKNOWLEDGMENTS

2023年度、アンビシャスでは174件 1119万円余りのご寄付をいただきました。

また賛助会員296件（個人178名、法人118団体）と多くの皆様が会員としてアンビシャスの活動を支えていただいています。

長引くコロナ禍の厳しい経済状況の中にもかかわらず、この様に多くの皆様の心温まるご支援により、難病の方々へ難病情報誌のご提供や、医療相談会等の支援活動を行うことが出来ました。

皆様のご支援に改めて厚く御礼を申し上げます。

会報誌広告掲載（順不同） 敬称略

土地家屋調査士 伊波 学
株式会社クオサ
沖縄トヨタ自動車株式会社
首里城下町クリニック
大塚製薬株式会社
琉球ゴールデンキングス
株式会社 照正組

ホームページ協賛広告（順不同）敬称略

アステラス製薬株式会社
岡野法律事務所

研修会支援(交通費等支援)(順不同)敬称略

アステラス製薬株式会社

5万円以上寄付者（日付順） 敬称略

株式会社鹿児島銀行
有限会社 麦飯石の水
イオン琉球株式会社
株式会社 大央ハウジング
ピュアペットクリニック
株式会社サンシャイン
全保連株式会社
医療法人 麻の会
岸本隆一
大城志津子

株式会社サンシャイン
米国福祉事業協会（AWWA）
株式会社いなんせ典礼
三和金属株式会社
米国Salesforce
萩原 祥禎
株式会社 メガネ一番
長嶺 元陽
首里キャッスルライオンズクラブ
驥尾の会（模合参加500円）年間合計
匿名 5名

誌面で入りきれない数多くの皆様に感謝申し上げます。

理事

Board Members

2024年4月末現在

理事長

President

迫 幸治

Yukiharu Sako

副理事長

Vice President

照喜名 通

Toru Terukina

仲嶺 朋広

Tomohiro Nakamine

上原 実

Minoru Uehara

岡野 浩巳

Hiroshi Okano

與那城 圭

Kei Yonashiro

田名 毅

Takeshi Tana

小阪 亘

Wataru Kosaka

比嘉 晶子

Akiko Higa

監事

Controller

大城 拓

Taku Ooshiro

事務局長

General Director

仲村 明

Akira Nakamura

次長

Deputy director

伊佐 真一郎

Shinichirou Isa

アンビシャスの最新活動

読み込まない方を
隠してスキャン↓



Facebook @ambitious.npo



公式LINE @563aheli



活動にご支援ください

アンビシャスの活動は、皆様からの寄付で実現しています。
私達とともに、難病の方を救う力となってください。

寄付のお申し込み・資料請求は

電話 098-951-0567 (10:00-17:00平日)

www.ambitious.or.jp

アンビシャスは「認定NPO法人」として所轄庁の認定を受けています。
アンビシャスへの寄付は、所得税、法人税の税制優遇措置(寄付金控除)
の対象となっています。優遇措置を受けるためには申告が必要です。